

群 峰

学校教育目標

生気に満ちた姿勢で
物事にあたり
互いに励まし高め合う生徒

令和2年5月27日(水)

5月18日(月)～

5月20日(水)

授業再開 入学式終了



1都3県と北海道に引き続き出されていた“緊急事態宣言”が25日(月)に解除され、少しずつ新型コロナウイルスの蔓延が収束しつつあるように感じられる日々が続いています。しかし、政府の会見ではこれからの生活のことを“新たな日常”と表現していますし、専門家会議からは緊急事態宣言解除後の“新しい生活様式”が提案されるなど、まだまだ予断は許しません。

そのような中、学校においては5月11日に分散登校による健

康観察を行い、5月18日からは分散登校による授業を再開しました。学校には久しぶりの友だちや先生との再会を喜ぶ生徒の歓声や笑顔が溢れていました。

また、5月20日には1年生の生徒8名が初めてそろいましたので、規模を縮小した“ミニ入学式”を行いました。ミニ入学式の中では1年生8名が中学校生活での抱負を話す場面がありました。8名全員がしっかりと自分の考えを伝えられることができ、中学生としての自覚が感じられました。式辞では「中学生時代はこの世に生を受けた誕生日に続き、二回目の誕生日ともいわれています。皆さん一人一人の成長も、これまでにはないほど、心も体も大きく変化し、自分のよいところをますます伸ばす時期となります。」という話をしました。1年生全員が自分の抱負を達成することができるように全力で“努力”し、自分の可能性をどんどん伸ばして行ってほしいものです。



ところで、中国で作られたことわざの中に、“一念岩をも通す”という言葉があります。この言葉は、李行という人物が、草の中にいる虎を石と見間違えて弓を射たら、その矢は刺さるはずのない石に突き刺さったという「石に立つ矢」という昔からの言い伝えに基づいたものです。この言葉は、「どんなことでも一途に思いを込めてやれば成就(じょうじゅ)する。」という意味を持っています。

「二回目の誕生日」を迎えているのは新1年生だけではなく、2年生も3年生も二回目の誕生日のまっただ中で生活しています。4月の始業式の中で話しましたが、2年生はこれから上美生中学校の中心的存在になります。また、3年生は人生で初めての岐路(高校進学)を迎えます。コロナ禍で先行きが不透明な中であるからこそ、自分なりの目標を定め、全校生徒24名が有意義な生活を送り、3月には自分の思いを成就し、笑顔で卒業・進学していくことを期待しています。(校長 中村 浩幸)

学校からのコロナウイルス関係の連絡

いよいよ6月1日（月）から、学校の教育活動が再開されます。これからの教育活動は、左の文書にも記載している通り、これからは今までと違う日常、学校での新しい生活基準に基づく活動となります。学校再開に向けての現段階での様々な状況をお伝えいたします。

（1）部活動の大会中止

全国・全道規模の中体連大会中止を受け、十勝大会も8月まで中止となりました。大変残念ではありますが、中学3年生最後の中体連大会は開催されないこととなります。先日の分散登校の際に、3年生全体に向けての校長からの講話、その後の各部活動での生徒への説明を行いました。各ご家庭におきましても、お子様のメンタルヘルスチェックをお願いいたします。



（2）教職員の取組

登校の際には玄関で熱を測定しています。各ご家庭におきましても、登校前に熱を測っていただき、万が一発熱がありましたら、ご連絡をいただきますようお願いいたします。



（3）授業の本格的再開に向けて

来月からの授業再開に向けて、本校が現段階でできる限りの感染防止対策を講じています。具体的には、“ソーシャルディスタンスを保つ”“授業スタイルの見直し”等、これまでの教育活動とは違う学校生活となります。変更点が出てきましたら随時、マチコミメール等を通じて、お知らせいたします



（4）寄贈

カルビー株式会社より、“子どもたちを元気づけたい”という思いを込めて、生徒一人一人にスナック菓子をいただきました。6月1日に生徒に手渡します。大変ありがとうございました。

6月の行事予定

- 1日（月）職員会議・研修
安全点検日
- 4日（木）議案審議 移動文庫
- 8日（月）代議員会
- 10日（水）教育相談 ～16日
生徒総会前日リハーサル



- 11日（木）生徒総会（テレビ放送）
- 15日（月）芽室町交通安全の日
- 18日（木）3年生学力テスト
- 22日（月）避難訓練 生徒会活動日
- 24日（水）チャレンジテスト配信
- 25日（木）職員会議（生徒指導交流）
- 26日（金）教育委員会委員学校訪問

※現在の予定であり、突然変更されることもありますので、ご了承ください。